

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|-----------------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 34 | <急変や事故発生時の備え> 急変時や事故発生時の対応について、まだ不安がある。 | 全スタッフが迅速に対応できるようにする。 | ①救急時の対応の整備。 ②危険予想訓練を実施し、事故を早期発見する力をつけていく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 35 | <災害対策> 併設の施設と合同で消防訓練は出来ているが、地域に住む方々を交えた訓練が出来ていない。 | 地域に住む方々が消防訓練に参加もしくは見学してもらう。 | ①災害に対する勉強会の実施。 ②地域に住む方々へ消防訓練について声をかけていく。 ③災害時の備蓄品の確認を定期的に行っていく。 | 12ヶ月 |
| 3 | 33 | <重度化や終末期に向けた方針の共有と支援> ターミナルケアについての知識が充分といえない。 | 全スタッフがターミナルケアについての正しい知識を持つことが出来る。 | ①ターミナルケアについての勉強会の実施。 | 12ヶ月 |
| 4 | 49 | <日常的な外出支援> 企画外出は定期的に行っているが、日常的な買い物などの外出支援が少ない。 | 外出する事で様々な事への意欲向上や気分転換を図ることが出来る。 | ①外出支援について見直し、個々に合った対応を検討。 ②個人購入物は、可能な限り本人様と行き嗜好に配慮する。 | 12ヶ月 |
| 5 | 36 | <一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保> 日常生活の中での声掛けにおいて、羞恥心への配慮に欠け、プライバシーを損ねる言動が聞かれる事ある。 | 個人を尊重し、プライバシーに配慮した声掛けが出来る。 | ①スタッフ一人ひとりが意識を持ち、お互いを注意し合える環境を作る。 ②プライバシー・羞恥心に配慮した声掛けを行う。 | 12ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。